

## 野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日時 令和5年11月29日(水) 午前10時00分開会 午前10時48分閉会
- ◇場所 野田市役所低層棟4階委員会室
- ◇出席委員 染谷篤教育長 伊藤稔教育委員 高橋保教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 富山勝之教育次長(兼)生涯学習部長 戸塚進生涯学習部次長(兼)教育総務課長 安藤剛行生涯学習課長 土屋孝之学校教育部長 廣居信和学校教育課長 間々田英示指導課長 村田弘信学校教育課主幹

◇書記 倉持忠雄教育総務課教育総務係長

### ◇議案

- (1) 令和5年度末及び令和6年度野田市立小中学校職員人事異動方針について

### ◇教育長報告

#### 教育総務課

- (1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づく教育委員会の点検・評価について

#### 生涯学習課

- (1) 令和5年度子ども未来教室(小学校3年生)の概要報告について
- (2) 野田市少年野球教室の開催結果について

#### 学校教育課

- (1) 新型コロナウイルス感染症等の対応について
- (2) 令和6年度小学校入学予定者就学時健康診断の実施について
- (3) 公立幼稚園の園児募集について

#### 指導課

- (1) 令和5年度第1回いじめアンケートの結果について
- (2) 令和5年度研究指定校(公開研究会)について
- (3) 令和5年度第54回野田市中学校弁論大会について

◎染谷教育長

ただいまから、令和5年11月教育委員会定例会を開会いたします。

本日、傍聴希望者が2名いらしておりますので、これを許可いたしましたことを、御報告いたします。

会議に先立ち、傍聴の方に申し上げます。会議における議論につきまして、批評を加えたり、賛否を表明したり、私語等なさないよう御協力をお願いします。

それでは会議を始めます。

本日の会議録署名委員を飯田委員にお願いします。

(飯田委員承諾)

◎染谷教育長

会議録承認の件に入ります。

令和5年10月定例会の会議録について、事前に資料を配布しているところですが、御意見等ございますか。

◎全委員

(異議なし)

◎染谷教育長

御異議なしと認め会議録につきましては承認いたします。

それでは会議次第に従い、議事を進めます。

本日の議題は、議案1件、報告事項8件となっております。

議案第1号を議題とします。

(書記議案朗読)

◎染谷教育長

事務局から説明をお願いします。

学校教育課主幹。

◎村田学校教育課主幹

令和5年度末及び令和6年度野田市立小中学校職員人事異動方針について、説明申し上げます。資料は2ページからとなります。

野田市の小中学校職員の人事異動につきましては、千葉県教育委員会の定める公立学校職員人事異動方針及び東葛飾教育事務所人事異動推進方策を基本として進めております。

本市教育の一層の充実を期するため、全市的な立場で職員の重点強化等、教育現場の人的条件が一層整備されるよう人事異動を図ってまいりたいと考えております。

また、職員の資質の向上と人材育成を図り、市民に信頼される学校作り、開かれた学校作りを推進してまいります。円滑な学校運営が行われ、教育効果を高めるため、職員構成上の地域等格差や永年勤続者の解消を図り、適材適所の人事を推進したいと考えております。

特に、近年、県の方針に伴い、市間交流が強力に進められております。

また、県立学校等の交流については新規採用5年から10年程度の教員が対象となる、若手教員交流と、教職経験10年以上の教員が対象となる、中堅教員交流が行われ、若手同士の交流も増えてきています。

今後も人材育成の観点からも、積極的に進めてまいりたいと思います。

さらに、野田市の人事異動に係る留意点につきましては、資料4ページのとおり、六つの重点を設け、取り組んでまいります。

概要を申しあげますと、人事異動については全市的立場に立って行うこと、管理職の適正な配置及び登用に努めること、計画交流を含めた積極的な市間交流を図ること、特別支援教

育の指導者の確保と適正配置を図ること、新規採用職員の配置について、十分に配慮すること、再任用職員の配置について、学校や地域の実情等を踏まえて、計画的に行うこと、以上の6点に留意して進めてまいります。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎染谷教育長

ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見等がありましたらお願いします。

高橋委員。

◎高橋委員

人事異動方針の5番目、障がいのある職員について記載がありますが、野田市に障がいをお持ちの先生は何人いらっしゃるのか教えていただけますか。

◎染谷教育長

学校教育課長。

◎廣居学校教育課長

障害者手帳を所持している教員の数でお答えさせていただきます。

小学校1名、中学校1名、合計2名でございます。

以上でございます。

◎染谷教育長

高橋委員。

◎高橋委員

障がいをお持ちの先生方が御活躍いただけるように、適正な配置をお願いします。

以上です。

◎染谷教育長

ほかにございましたらお願いします。

なければ、議案第1号についてお諮りします。

議案第1号について、原案のとおり可決することに、御異議ありませんか。

(異議なし)

◎染谷教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

なお、報告事項に対する御質問等につきましては、報告事項の説明終了後に、一括してお受けしたいと思います。

それでは、教育総務課からお願いします。

教育総務課長。

◎戸塚教育総務課長

令和5年10月の定例会で御決定いただきました令和4年度事業実施に係る教育委員会の点検・評価に関する報告書につきましては、学識経験者の知見の活用ということで、教育委員会アドバイザーである石垣弁護士より、御意見を頂戴しておりますので、概要について御報告いたします。

資料の2ページを御覧ください。

初めに、生涯学習部の17の重点目標について御報告いたします。

教育総務課の重点目標である「(1)教育委員会の活性化」については、「各勉強会、研修会への参加と教育機関の視察について、これからもより活発に取り組みたい。特に、教

育先進市での取組について情報交換を行い、野田市の教育の充実を図られたい。」「教育委員会定例会の会場を学校や生涯学習施設で行い、現場の状況を的確に把握されたい。」「(2) 学校施設・設備の充実」については、「トイレの洋式化、美化については、子どもの豊かな心の育成のためにも特に重要である。令和8年度までに確実に終了するよう取組まれたい。」という御意見を頂いております。

次に、生涯学習課の「(3) 生涯学習の充実」から「(15) 地域との連携の推進」までの13の重点目標についての御意見について、主なものを申し上げますと、「(4) 鈴木貫太郎記念館の再建への取組」では、「国家レベルで重要な資料を持つ記念館であり、その整備については、市民の理解を得ながら、しっかりと進められたい。」「すでに検討済みかもしれないが、クラウドファンディングの活用なども検討されてはいいかがか。」「(10) 学校・家庭・地域連携協力推進事業の取組」については、「「みんなのすくすくひろば」「親子参加型講座」「子ども未来教室」とも、児童生徒らの確かな学習習慣の確立のため重要な取組であり、継続的に取組まれたい。」という御意見及び御提案をいただいている一方で、「(11) いじめ・虐待防止対策の推進」については、「(10) 学校・家庭・地域連携強力推進事業の取組」などと連携し、公民館を核とした虐待防止に取り組む姿勢が評価できる。」という取組を評価する御意見も頂いております。

次に、興風図書館の重点目標である「(16) 図書館機能の充実」については、「それぞれの活動に熱心に取り組まれている様子が見え、高く評価できる。」という取組を高く評価する御意見を頂いている一方で、「(17) 生物多様性自然再生の取組」については、「資料収集に苦勞している様子が見え、アンテナを高く、対象を広げて、発信すべき情報の収集に取り組まれたい。」といった御意見も頂いております。

続きまして、学校教育部の12の重点目標について御報告いたします。

資料の4ページを御覧ください。

初めに、学校教育課の「(1) 確かな学力の向上」から、「(5) 生物多様性自然再生の取組」までの五つの重点目標ごとに、御意見を頂いております。

主なものを申し上げますと、「(2) 健やかな体の育成」については、「課題として挙げられている6点について、それぞれの課題について前進が図られるよう着実に取組まれたい。」「(3) 安全安心な学校(園)づくり」については、「不祥事があつた際には、適切な事実把握と再発防止のための研修につき、外部の視点も取入れ、しっかりと取組まれたい。」という御意見を頂いている一方で、同じく「(3) 安全安心な学校(園)づくり」の中で、「3年保育の拡充やインクルーシブ教育の導入、私立幼稚園への補助金交付など、幼稚園段階での事業の整備について評価ができる。」といった取組を評価する御意見も頂いております。

次に、指導課で取り組まれている「(6) 確かな学力の向上」から「(12) 地域との連携の推進」までの七つの重点目標ごとに頂いております御意見について御報告いたします。

主なものを申し上げますと、「(6) 確かな学力の向上」については、「学習用端末を利用した学習習慣の定着が見られるとのことであり、評価できる。」と取組を評価する御意見を頂いておりますが、同重点目標で、「英語教育については、県レベルでも高校入試段階での二極化が問題となっており、英語嫌いをなくすとともに、異文化理解を含め、小中連携を意識した英語力の向上に努められたい。」「(11) 安全安心な学校づくり」については、「長欠・不登校児童生徒については、コロナ以降のその増加が問題となっており、学校復帰や社会的自立を視野に入れ、何より当該児童生徒の自尊感情の確立に努められたい。」という御意見を頂いております。

以上頂きました貴重な御意見等につきましては、見落とされている現状やニーズを把握する良い機会として捉え、また学校現場等との連携を更に深め、教育委員会活動や事業が掲げる目標についても引き続き精査しながら、効果的な教育行政に資するよう努めてまいります。

最後に、頂いた御意見につきましては、前回の定例会で御決定をいただきました点検・評価報告書に添付し、議会へ提出するとともに、市役所といちいのホールの行政資料コーナーや市内各公民館、図書館及び市のホームページにおいて公表してまいります。

報告は以上でございます。

◎染谷教育長

次に、生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長。

◎安藤生涯学習課長

生涯学習課から、報告させていただきます。

始めに、令和5年度子ども未来教室の小学校3年生分の概要について御報告いたします。

資料は、報告事項の6ページを御覧ください。

小学校3年生につきましては、10月31日の実施を最後に、今年度分を終了しました。

実施回数は全体で276回、1校当たり13.8回でございます。感染症の拡大防止対策や学校行事等により、各校で実施回数にばらつきがあり、最も多かったのが関宿小学校で18回、最も少なかったのが山崎小学校の10回でございます。最終の申込者数は310人、出席率は92.4%でした。

今後、参加児童及びその保護者並びに各学校の担当教諭を対象に、子ども未来教室の実施内容や参加した児童の学習面における変化等についてアンケート調査を実施いたします。調査結果がまとまり次第御報告するとともに、調査結果を今後の未来教室の実施に活かしてまいります。

◎染谷教育長

次に、学校教育課からお願いします。

学校教育課長。

◎廣居学校教育課長

学校における新型コロナウイルス感染症等の対応について報告させていただきます。資料はございません。

10月の感染者数につきましては、小学生は合計で9名、中学生は合計で30名、職員は0名でした。

11月の感染者数につきましては、11月24日まで小学生は合計で2名、中学生は合計で3名、職員は合計1名でした。

10月と11月で比較しますと、小学生は7名の減、中学生は27名の減、職員は1名の増となりました。

インフルエンザの流行が依然として続いており、11月も複数の学校において、学級閉鎖、学年閉鎖を実施しております。各校において、引き続き、手洗いや換気といった基本的な感染防止対策をしっかりと実施するよう指導を行ってまいります。

続いて、令和6年度小学校入学予定者就学時健康診断の実施について報告させていただきます。資料は7ページとなります。

令和6年度に小学校に入学する予定の幼児を対象に、10月11日から市内各小学校を会場として「就学時健康診断」を行ってまいりました。11月9日で全日程を終え、市内20の小学校での検診が終了いたしました。

来年度入学する児童数ですが、今後の増減はありますが、現在1,074名の予定となっております。なお、令和5年度の入学者数は、1,046名でした。

就学時健康診断の内容ですが、学校医による内科検診、学校歯科医による歯科検診、視力検査、聴力検査、発達検査等を行い、最後に学校職員との面接となります。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことなどを受け、昨年まで教職員のみで行っていた幼児の誘導や引率について、一部の学校では6年生や5年生が担当しました。教育委員会からも管理主事、指導主事を派遣し、円滑な健診の運営に協力しました。

続いて、公立幼稚園の園児募集について報告させていただきます。資料はございません。

例年、11月から12月の定例会におきまして、公立幼稚園の園児募集要項や応募状況を御報告しております。

昨年の園児募集時期は、私立幼稚園への影響を考慮して、11月中旬からとしておりましたが、令和6年度の公立幼稚園の園児募集の開始時期につきましては、野田幼稚園の現3歳児クラスが定員20名を超えて在籍している一方で、私立幼稚園では入園児が減少している園があるとのことから、令和6年度の公立幼稚園の募集は、私立幼稚園への影響を考慮し、来年の1月中旬へ延期の予定となっております。

現在、市の健康こども部子ども保育課が中心となって、私立幼稚園協会と協議しており、今後、募集時期、募集方法が決定した後に御報告させていただきます。

学校教育課からの報告は以上です。

#### ◎染谷教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

#### ◎間々田指導課長

それでは、指導課所管事業につきまして、3点御報告申し上げます。

まず、1点目、資料8ページ、令和5年度第1回全校児童生徒を対象とした「いじめ実態調査」のその後の状況について申し上げます。

第1回いじめアンケートは6月に実施しておりますが、10月10日から10月13日まで、指導課指導主事が市内各小中学校を訪問し、その後の状況を聞き取りました。

解消した件数は小中学校合わせて532件となりましたが、解消されていない132件がございますので、児童生徒への支援の状況、解決に向けての取組内容について管理職の先生方から詳細を伺いました。

一定の解消が図られたケースでは、いじめを受けていると訴えのある児童・生徒と、いじめをしているとされる対象の児童生徒、双方の話を担任の先生や関係職員がよく聞き取り、場合によってはお互いを引き合わせ、和解させております。

しかし、未だに「悪口を言われる」「厭なことを言われる」といった状況の児童・生徒がおり、現在解消に向けて各校で取り組んでおります。

10月30日から11月27日まで、今年度2回目の全校児童生徒を対象とした「いじめ実態調査」を実施しております。

今後、第1回と同様、聞き取り、追跡調査を行い、新たないじめや再発しているものはないかなど確認します。危機意識を持ち、組織体制で指導にあたりるとともに、状況に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーへの相談、ひばり教育相談や関係機関と連携を図る等、早期解消に努めてまいります。

次に、資料9ページ、今年度の野田市教育委員会研究指定校における公開研究会についてきょう申し上げます。

まず、11月20日月曜日に清水台小学校におきまして、NICT教育推進事業の公開研究会が開催されました。

研究主題は、NICTプロジェクト「つかう」から「いかす」へ、副題として、授業・校務そして日常生活で効果的にICTを活用するための「しみずだいDX（デジタルトランスフォーメーション）」で、当日は、清水台小学校の先生方による公開授業だけでなく、県内の他のGoogle for Education事例校の先生方を交えてのパネルディスカッションも行われました。生成AIを活用した授業作りの在り方からCanvaという画像デザインソフトの活用事例まで、先進的にICTを活用した取組を行っている清水台小学校の授業や他のGoogle事例校の実践に触れることができ、大変有意義な研修となりました。

次に、11月22日水曜日に川間小学校におきまして、学校人権教育の公開研究会が開催されました。

研究主題は、互いの良さを認め合う心豊かな児童の育成、副題として、対話的な道徳科の指導を通してで、当日は、川間小の先生方による公開授業だけでなく、麗澤大学客員教授広中忠明先生に「対話的な道徳科の授業づくり」との演題で御講演いただき、日頃から道徳の授業作りに多くの先生方が苦勞されている中で、授業作りの道しるべを御提示いただき、大変勉強になりました。

続きまして、資料10ページ、第54回野田市中学校弁論大会について申し上げます。

11月7日火曜日、今年度は第二中学校を会場としまして、中学校弁論大会を実施いたしました。

弁士、演題につきましては資料のとおりでございます。

今年度も、どの弁士もたいへん聞き応えのある発表で、原稿を暗記している生徒も多だけでなく、声の抑揚、強弱、間の取り方、語る速さなど、聞き手の心をつかむものが多くございました。

当日、野教研国語部会助言者である東部中学校の横川校長先生からは、話をするときのスピードや表情について講評をいただき、弁士のみならず、第二中学校の生徒にも響く学びの場となりました。

今後も、国語科の授業はもちろんのこと、各教科、学校における諸活動において子供たちが自分の考えや意見を周囲に発信する機会を工夫して設け、児童生徒の表現力を向上させたいと思います。

以上、御報告申し上げます。

#### ◎染谷教育長

ほかに報告事項がありましたら、お願いします。

生涯学習課長。

#### ◎安藤生涯学習課長

野田市少年野球教室の結果について御報告いたします。資料はございません。

11月26日にSAM-POWスタジアム野田において、法政大学野球部監督と選手37人の指導の下、市内、少年野球13チームから117人、東部中学校及び木間ヶ瀬中学校を除く中学校8校の野球部員79人、総勢196人が参加し、野田市少年野球教室を開催いたしました。

当日は、時折小雨の降る生憎の天気でしたが、大きな声を出し、活気のある中で、野球の技術だけではなく、練習の際のマナーや、指導を通じて交わされる挨拶など、日常生活における礼節を学ぶことのできる貴重な一日となりました。

また、西武台千葉中学・高等学校吹奏楽部の皆さんの御厚意により、開会式前のオープニングで演奏を御披露いただきました。さらに、西武台千葉高等学校野球部員の皆さんには、グラウンド整備等のサポートをいただきました。

以上です。

◎染谷教育長

ほかに報告事項がありましたら、お願いします。

それでは、ただいまの報告事項につきまして、御質問、御意見等がありましたらお願いします。

飯田委員。

◎飯田委員

資料の5ページ、教育委員会の点検・評価の学識経験者としての御意見を頂いた中で、指導課の(6)の3項目には、英語嫌いをなくすとともに、異文化理解も含め、小中連携を意識した英語力の向上に努められたいとの御意見を頂いております。このことについて、教育委員会としての今後の方針が定まっていれば教えていただきたい。

また、(10)いじめ・虐待防止対策の推進に対する意見としては、より充実させてほしいとの内容ですが、この御意見を受け、教育委員会としての今後の方針が定まっていれば教えていただきたい。

以上です。

◎染谷教育長

指導課長。

◎間々田指導課長

英語教育に関しましては、小中の連携を意識しまして英語科の教員を対象にした研修で、小中連携での研修を行っております。

国語科の例では、小学校で学んでいたことを、中学校の教員が知らないまま、再度中学校で時間をかけて指導する。これは丁寧に指導しているという捉え方もできますが、一方で限られた時間の中でそこまで時間をかける必要があるかという問題がございます。

英語科も小学校で学んだことを基礎として、中学校でどのような英語教育ができるかという視点に立つ必要があると考えております。

来年度以降も引き続き、現行の小中教員の連携等も含め、さらに充実させられるように、検討を重ねていきたいと考えております。

次にいじめ虐待防止対策の推進でございますが、子ども家庭総合支援課及び、指導課内にあります子ども家庭総合支援課の分室と連携を図りながら、管理職や一般の教員向けの研修を重ねております。

引き続きマンネリ化しないように、また、教員は常にメンバーが変わって参りますので、新人や新たに野田市に着任した先生方等も含めた研修を続けていきたいと考えております。

また、いじめに関しましても、初動に問題があったことによって、いじめが重大化していく傾向があるとのマスコミ報道もございます。その点を我々も重く受け止めて、事あるごとに生徒指導提要も含め、いじめについて各学校に指導しているところでございますが、十分に理解をしてもらうために、今後も取組について検討していきたいと考えております。

以上でございます。

◎染谷教育長

飯田委員。



◎飯田委員

英語が好きになるのはとてもいいことだと思います。  
対策を進めていただきたいと思います。  
以上です。

◎染谷教育長

ほかにございましたらお願いします。  
高橋委員。

◎高橋委員

小学校の段階で英語が嫌いな児童がどの程度いるかという調査は行われていますか。

◎染谷教育長

指導課長。

◎間々田指導課長

小学生に対する調査は、現在のところ行われていない状況です。  
なお、英語嫌いをなくす上で、どのように授業を組み立てるかがポイントであろうと考えております。  
授業方法につきましては、英語の担当指導主事を中心に検討しているところで、機会がございましたら御報告させていただきたいと考えております。  
以上でございます。

◎染谷教育長

高橋委員。

◎高橋委員

いつから英語を嫌いになったのかということは、把握しておく必要があると思います。  
例えば、小学校の段階で既に英語が嫌いであれば、よほどのきっかけがないと中学校で英語は好きにならないと思いますし、初期段階から英語が好きになるようにしてあげたいとも思います。そして、英語に親しめる状況を作っていっていただきたいと思います。  
よろしく願いいたします。

◎染谷教育長

指導課長。

◎間々田指導課長

一般的には、活動が多い小学校の段階では英語嫌いは比較的少なく、中学校で文法などに触れて抵抗を感じるようになってくることもあるとも聞いておりますが、どの段階で英語に苦手意識を持つようになったか把握することで、何かしらの対応が取れるのではないかという視点に立ちまして、今後の英語教育のあり方についても指導課で検討を続けていきたいと思っております。  
以上でございます。

◎染谷教育長

補足させていただきます。  
全国学力・学習状況調査では、調査対象の教科について様々な質問が子供たちになされており、中学校にて英語の調査が行われる年につきましては、中学生が英語についてどのように考えているか、ある程度把握することができるかと思っております。  
また、英語嫌いをなくす取組の一つとして、Jolly Phonicsという英語教材を各学校に取り入れてはどうかと、先日の校長会で各学校の校長先生方に紹介させていただきました。

今後どの程度 Jolly Phonics を導入する学校が出てくるかはわかりませんが、今後の動向を見ていきたいと考えております。

ほかにございましたらお願いします。

伊藤委員。

◎伊藤委員

研究指定校の公開研究会について、英語教育とも関連するかもしれませんが、公開研究会に参加した先生が学校に戻り、公開研究会の内容をフィードバックするのだと思いますが、公開研究会にどの程度の人数の先生が参加したのか教えてください。

また、英語の好き嫌いは授業や担当の先生によるところがあるかと思いますが、ネイティブの先生から教わるのと、公開研究会などを経た英語専科の先生から教わるのと、どちらが効果的なのか、教育委員会でどんなスタンスで公開研究会等を企画されているのかをお聞きしたい。

◎染谷教育長

指導課長。

◎間々田指導課長

まず、研究指定校における公開研究会の参加者数は、川間小学校の人権教育では、一般の先生方約 40 名に加えて管理職の先生方が御参加されております。

また清水台小学校の N I C T 教育では、一般の先生方約 60 名に加えて管理職の先生方に御参加いただいております。

基本的に人権教育は各学校の人権担当が、N I C T 教育は I C T 担当が参加することになっております。その先生方に限らず、興味のある先生方は積極的に働きかけをし、ぜひ授業を見ていただきたいと声をかけさせていただいたところ、多くの一般の先生方の参加があったと考えております。

公開研究会で見たこと、学んだこと、配布資料等につきましては、学校に戻って職員会議などでの情報共有を行うよう、各校の管理職を通してお願いしております。

なお、英語の公開授業につきましては、基本になるのは野教研の外国語部会だろうと考えております。中学校については、英語専科が基本的には英語の授業を行っておりますので、専門的な視点による先生方の学習ができるだろうと考えます。小学校については、全員が英語の免許を持っているわけではない中で、どのような授業ができるか、また別の視点から、先生方が学べると考えており、絶対に A L T が公開研をやるべき、或いは中学校の先生がやるべきという指定をしておりますが、それぞれのケースにおいて様々な研究授業が行えているものと考えており、結果、どのような先生に教わったとしても、子供たちが英語を好きになれるような授業が行えるよう、指導力向上に努めております。

以上でございます。

◎染谷教育長

付け加えをさせていただきますが、資料には野田市教育委員会の指定校における公開研究会として二つの学校を掲載しておりますが、それとは別に、第一中学校と宮崎小学校が小中連携の外国語教育ということで、今年 11 月の千葉県教育研究会の公開研究会で発表させていただいております。

それについても、市内各小中学校から 1 名以上がその研究会に参加しております。

ほかにございましたらお願いします。

永瀬委員。

◎永瀬委員

7ページの入学予定者健康診断の資料を見ると、南部小学校の入学予定者数 106 人に対して学校医が3人、清水台小学校の入学予定者数 166 人に対して学校医が2人と、配置にアンバランスな印象を受ける。

今後も清水台小学校の入学予定者数が、同水準の状態が続いたり増えたりするであれば、学校医の配置を考慮していただければと思います。

以上です。

◎染谷教育長

学校教育課長。

◎廣居学校教育課長

今後の児童生徒数の推移や学校医の事情も考慮し、今後の学校医の配置については検討させていただきたいと思います。

◎染谷教育長

ほかにございましたらお願いします。

ないようですので、以上で教育長の報告事項を終了します。

本日の議題は、全て終了いたしました。

以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員